

年 組 名前:

甲府市立小学校児童数

※カッコ内は児童数前年度比。
▼はマイナス。5月1日現在

小学校	児童数
新紺屋	161 (11)
湯田	107 (▼11)
伊勢	258 (14)
朝日	141 (▼7)
里垣	236 (▼13)
相国	301 (▼4)
相国	311 (▼6)
貢川	382 (15)
千塚	318 (▼19)
池田	384 (▼14)
北新	150 (▼6)
代田	16 (1)
甲運	286 (16)
山玉	643 (▼27)
山城	1044 (39)
(山城分校)	0 (0)
大里	506 (▼10)
東	309 (▼1)
羽黒	340 (▼14)
石田	237 (▼11)
新田	79 (3)
大國	433 (▼19)
舞鶴	316 (▼21)
中道南	74 (5)
(桜木分校)	0 (0)
中道北	142 (▼4)
善誘館	151 (0)
合計	7325 (▼83)



三枝 大悟
杉原みずき

市教委学事課によると、児童数の実施。本年度は学区外から4人が入内訳は、男子3685人、女子3640人。25人学級の拡大や特別支援学級の増加により、学級数は前年度に比べ20多い400学級となった。前年度より減少したのは16校(59・3%)で、玉諸が27人、舞鶴が21人、大国と千塚が各19人減った。増えたのは、山城のほか甲運16人、貢川15人、伊勢14人などだった。市は児童数が少ない千代田について、17年度から要件を満たす場合に学区外から児童を受け入れる制度を16人減少した。

一方、市立中学校13校(分校含む)の生徒数は、3750人(男1973、女1777)で、前年度より1万人を下回り、2004年度に1万人を下回り、20年度には8千人を割った。

市内の児童数は、1980年の1万9243人をピークに減少傾向。2004年度に1万人を下回り、20年度には8千人を割った。

一定の要件で山城小の学区から入学できる制度を導入しているが、本年度の入学者はいなかった。

〈杉原みずき〉

甲府市立小学校27校(分校含む)の2024年度の児童数(5月1日現在)は、23年度より83人少ない7325人で、統計が残る1973年以降で最少となった。前年度を下回るのは18年連続で、約6割の学校で減った。最も多かったのは山城で前年度比39人増の1044人、最も少なかったのは千代田で16人(同一人増)だった。市教委は「宅地開発が進み、家を建てて移り住む若い世帯が増えている地域などは児童数が増加している」とみている。

児童数最少の7325人

24年度市立小、6割で減

(2024年8月1日付 山梨日日新聞 19面)

問1 甲府市立小学校の児童数で、前年度と比較して最も増加した小学校と、最も減少した小学校を教えてください。

・増加: ・減少:

問2 どのような地域は、児童数が増加していますか。

.....

問3 甲府市で、児童数が最も多かった年と、その人数を教えてください。

・年: ・人数: